

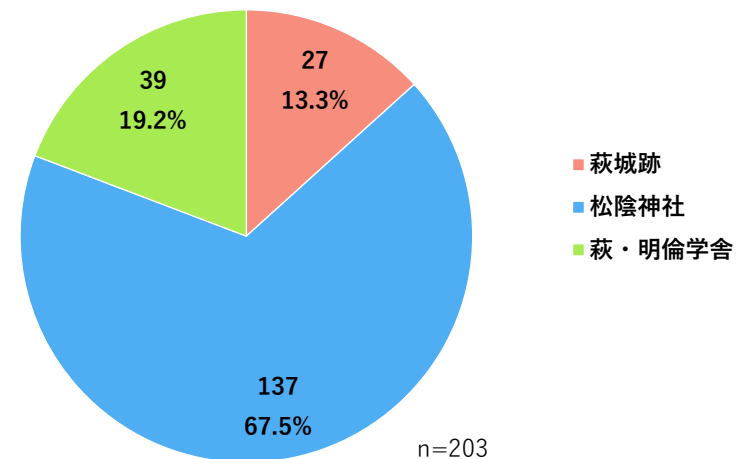
萩市観光移動ニーズ調査 調査結果

日本工営株式会社
令和6年9月

調査の概要

条件	内容
調査期間	2024年8月3日（土）
調査箇所	① 萩城跡 ② 松陰神社 ③ 萩・明倫学舎
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 居住地 萩市内で訪れた・訪れる予定の施設 移動手段（萩市まで／萩地域内／市内他地域） 公共交通での来訪検討有無、検討した結果自家用車できた理由 萩市内の観光において問題に感じた点 萩市の観光時に利用したいサービス 観光情報や移動手段の情報の入手先 その他、萩市内の観光におけるご要望 属性（性別／年齢／自動車運転免許の有無／グループの人数／同行者の属性／萩市内での宿泊の有無）
調査方法	各施設来訪者に対し、調査員が聞き取りで調査を行う。外国の方に対しては英語の調査票を渡し、記入してもらう
回答票数	合計：203票 萩城跡：27票 松陰神社：137票 萩・明倫学舎：39票

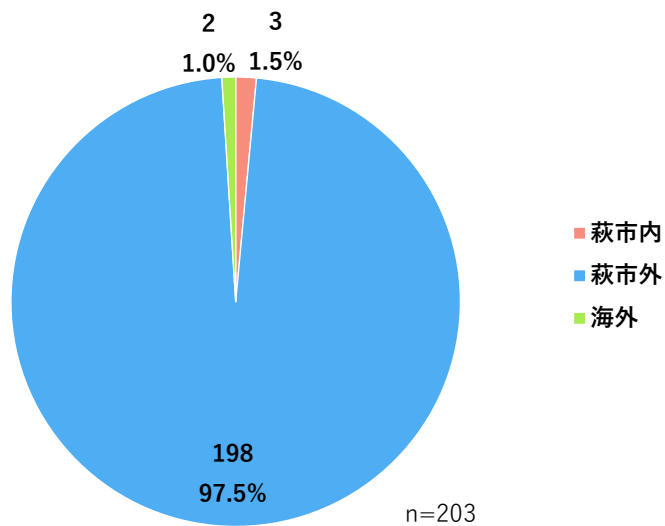
◆調査場所ごとの回答票数



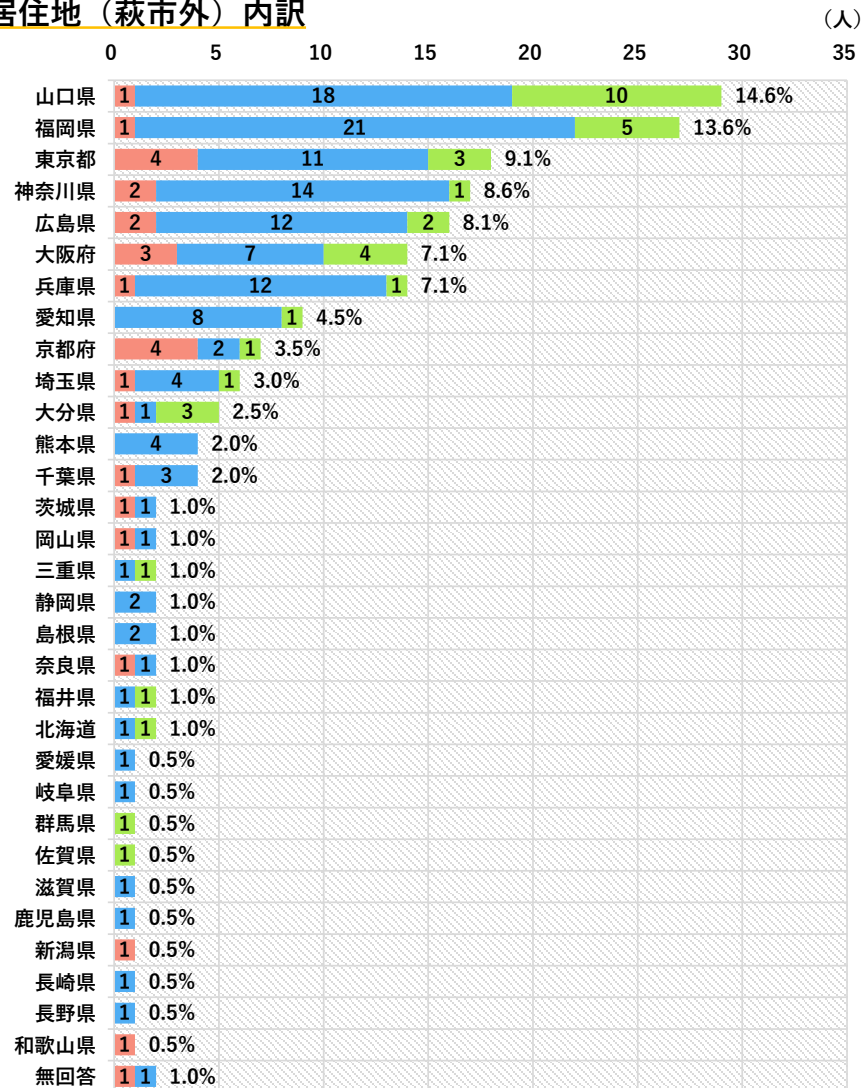
居住地

- 回答者の97.5%は居住地が萩市外である。
- 萩市外からの来訪者を都道府県別に見ると、山口県が最も多く、同程度で福岡県が続く。
- その他、関東（東京、神奈川）や山陽・関西（広島、大阪、兵庫）からの来訪者が高い割合を占めている。

◆居住地



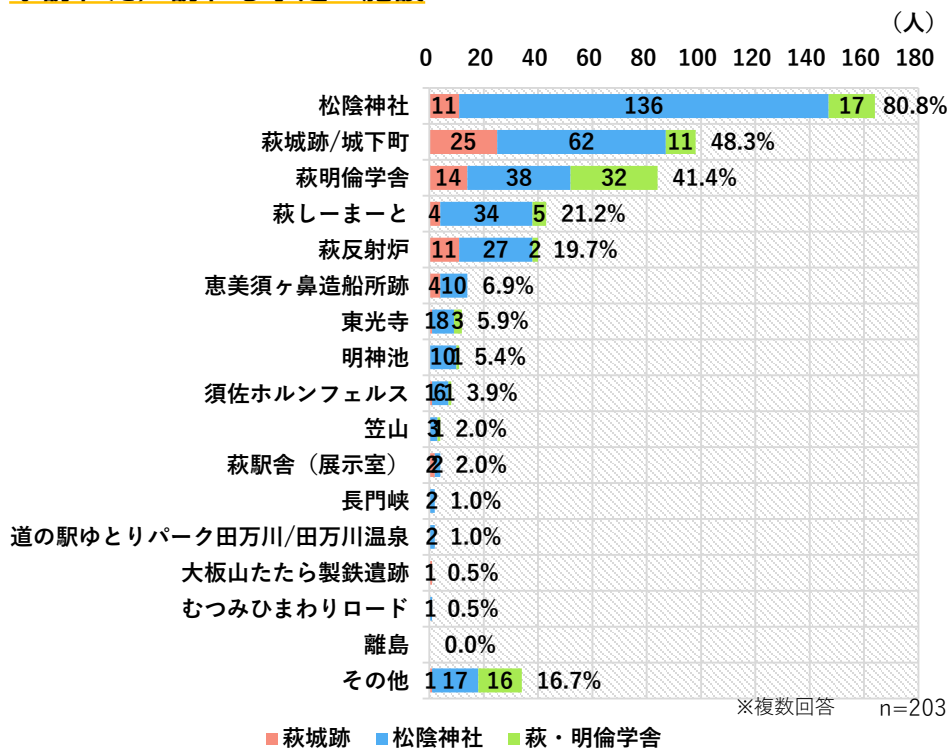
◆居住地（萩市外）内訳



訪れた／訪れる予定の施設

- 松陰神社が最も多く80%を超える。
- 調査箇所以外では、萩しーまーとや萩反射炉の割合が比較的高くなっているが、いずれも萩地域内であり、萩地域外の観光地に訪れる人はわずかであるといえる。
- その他としては、菊ヶ浜（海水浴含む）や萩博物館、伊藤博文旧宅が挙げられている。

◆訪れた／訪れる予定の施設



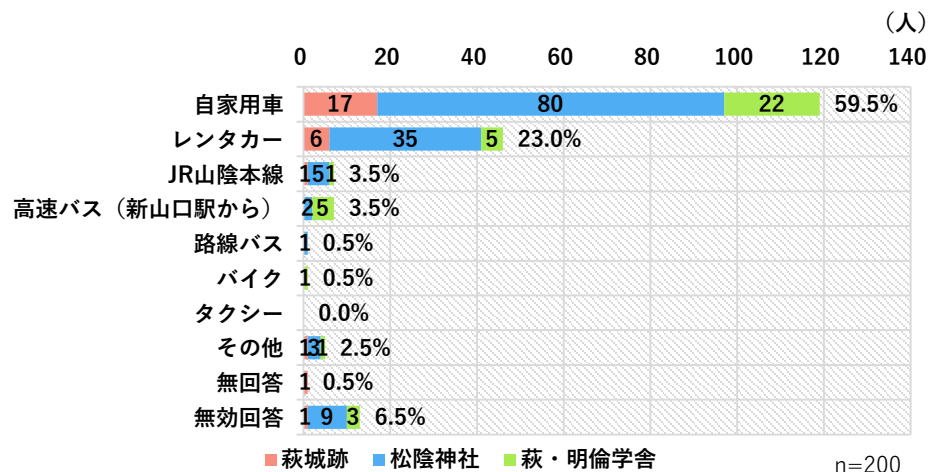
◆その他

観光地名	回答数
菊ヶ浜、海水浴	5
萩博物館	3
伊藤博文旧宅	3
萩焼、陶芸	3
元乃隅神社（長門市）	2
秋芳洞（山口市）	1

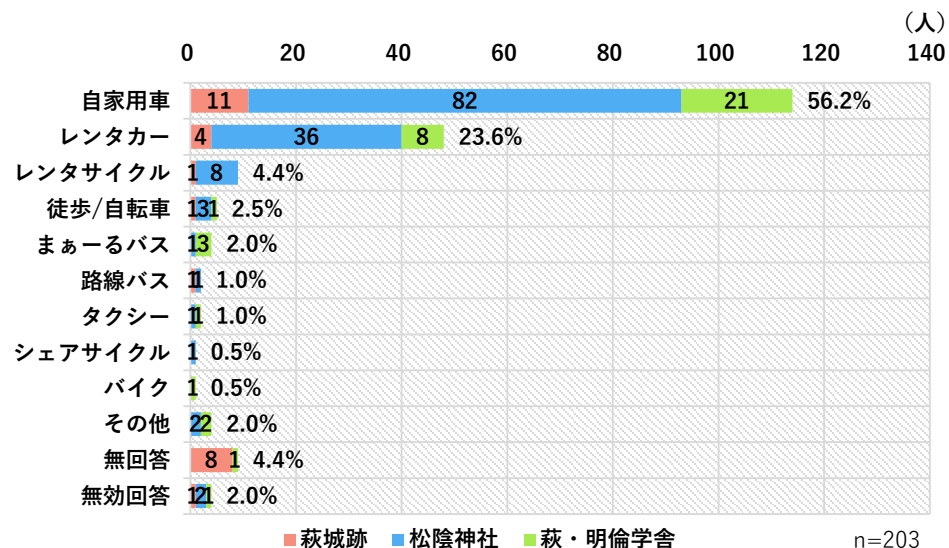
観光時の移動手段

- 「萩市まで」の移動手段は、自家用車が最多（59.5%）であり、次いで、レンタカー（23.0%）である。公共交通機関では、JR山陰本線および高速バス（スーパー萩号）がともに3.5%である。
- 「萩地域内」の移動手段は、自家用車が最多（56.2%）であり、次いで、レンタカー（23.6%）である。レンタサイクルは4.4%利用されているが、シェアサイクルは0.5%と利用が少ない。

◆移動手段（萩市まで）



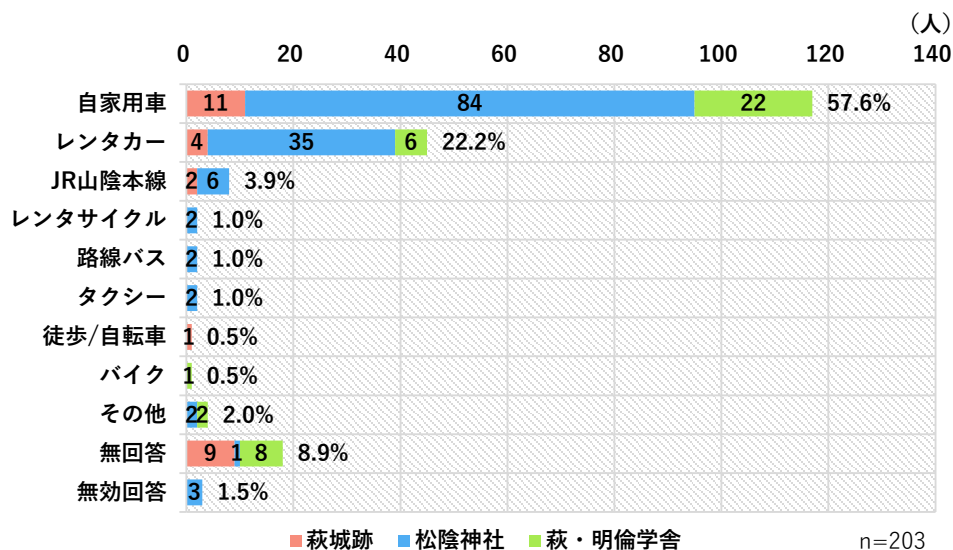
◆移動手段（萩地域内）



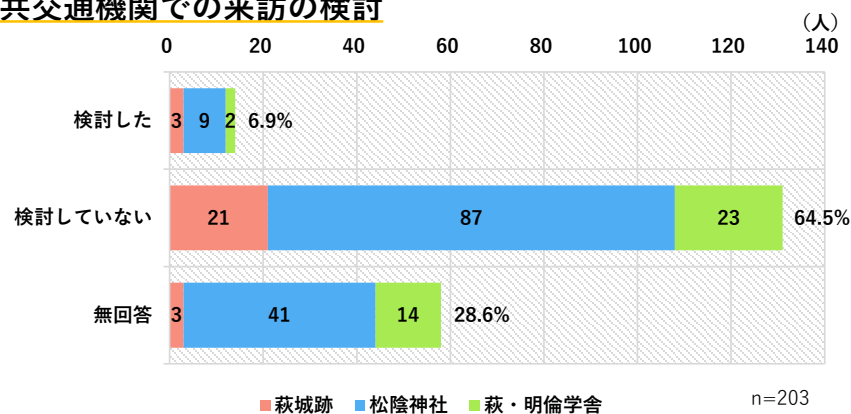
観光時の移動手段／公共交通での来訪の検討、検討した場合自家用車で来訪した理由

- 「萩地域⇔萩市内他地域」の移動手段は、自家用車が最多（57.6%）であり、次いで、レンタカー（22.2%）である。公共交通機関では、JR山陰本線が3.9%利用されているが、路線バスの利用は1.0%とごくわずかである。
- 萩市へ自家用車で来訪した人のうち、公共交通機関での来訪を検討したひとは6.9%存在する。最終的に自家用車で来訪した理由として多いのは、「公共交通では訪れたい観光地を巡れないから」「自由に行動できるから」といった移動の柔軟性に関するものである。感染症の懸念はされていない。

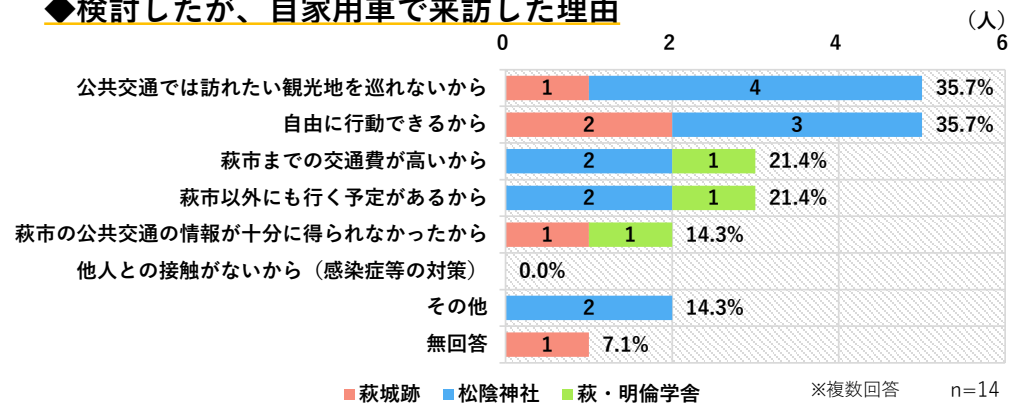
◆移動手段（萩地域⇔萩市内他地域）



◆公共交通機関での来訪の検討



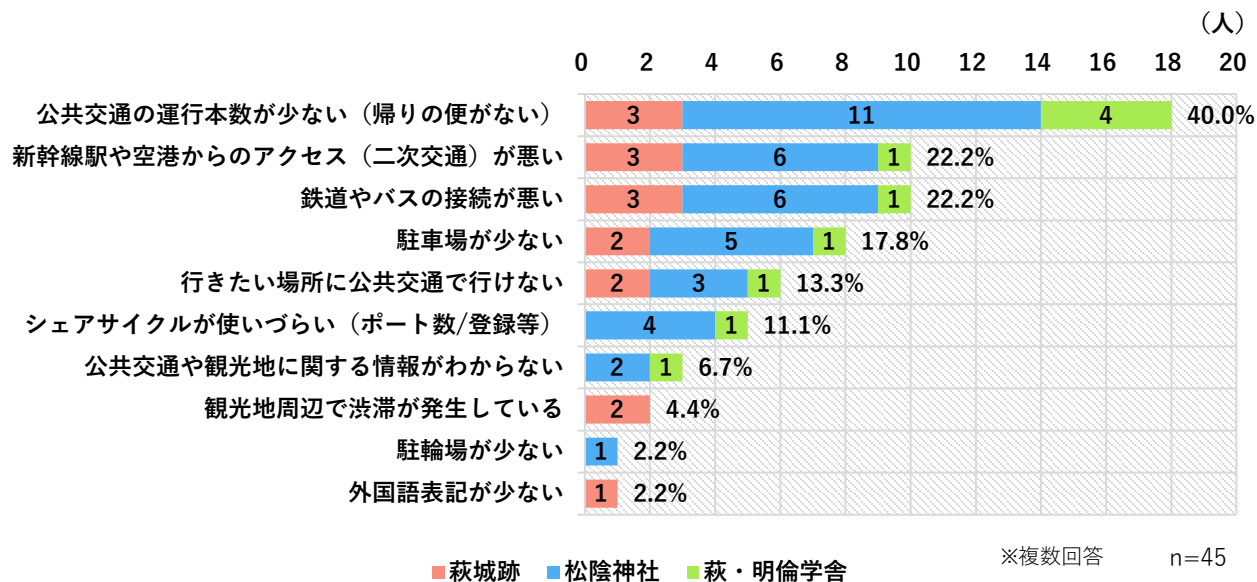
◆検討したが、自家用車で来訪した理由



萩市内の観光において問題に感じた点

- 「公共交通の運行本数が少ない」が最多であり、40.0%となっている。次いで、「新幹線駅や空港からのアクセスが悪い」「鉄道やバスの接続が悪い」がともに22.2%挙げられている。「行きたい場所に公共交通で行けない」も13.3%回答されている。

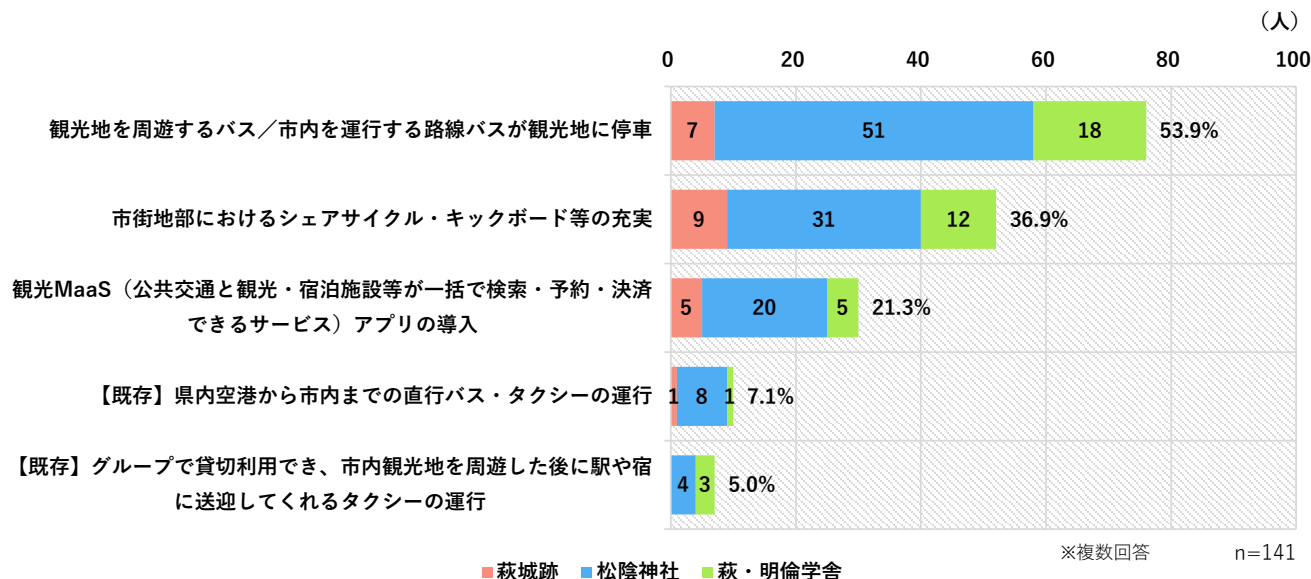
◆萩市内の観光において問題に感じた点



萩市観光時に利用したいサービス

- 周遊バスや観光地に停車する路線バスといった、観光客にも利便性の高いバスの利用意向が高く、回答者の半数以上から回答を得ている（53.9%）。
- 次いで、市街地部におけるシェアサイクル・キックボードを充実させることへの利用意向がある（36.9%）。
- 既存のサービス（空港からの送迎タクシー、貸切・送迎タクシー）はいずれも利用意向が低い（7.1%および5.0%）。

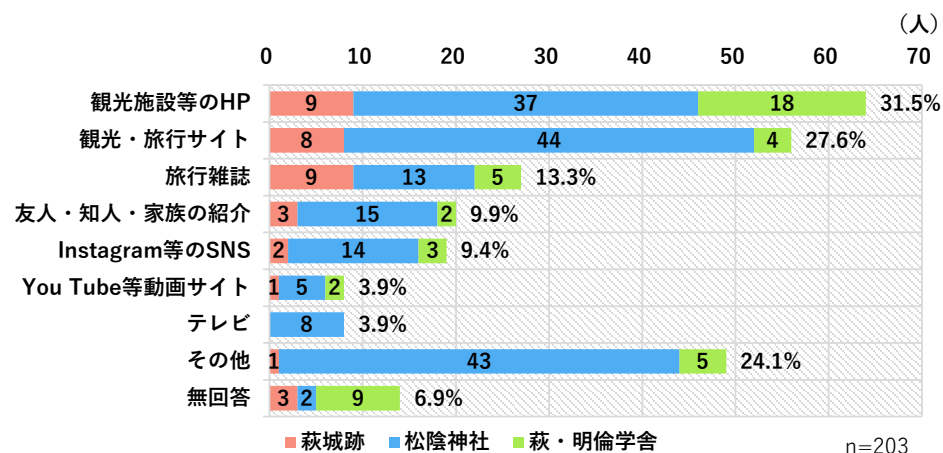
◆萩市観光時に利用したいサービス



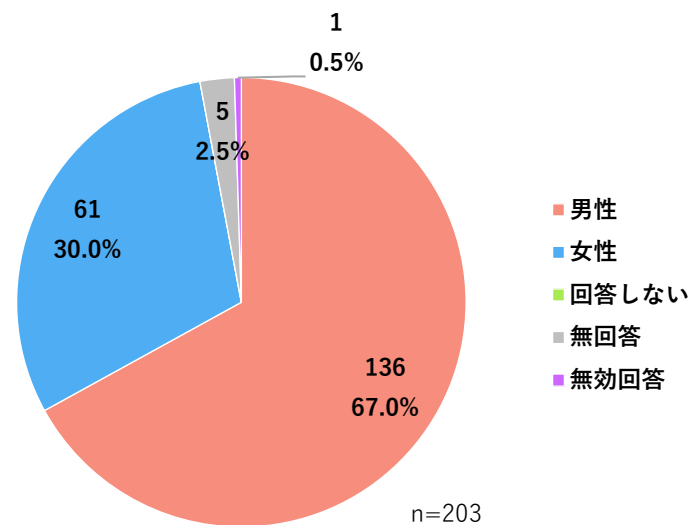
観光情報や移動手段の情報の入手先／属性（性別）

- 40代以上の年齢層の来訪者が中心である（次項参照）ためか、情報の入手先としてSNSやYou Tubeは少なく、観光施設等のHPや観光・旅行サイトが多い。

◆観光情報や移動手段の情報の入手先



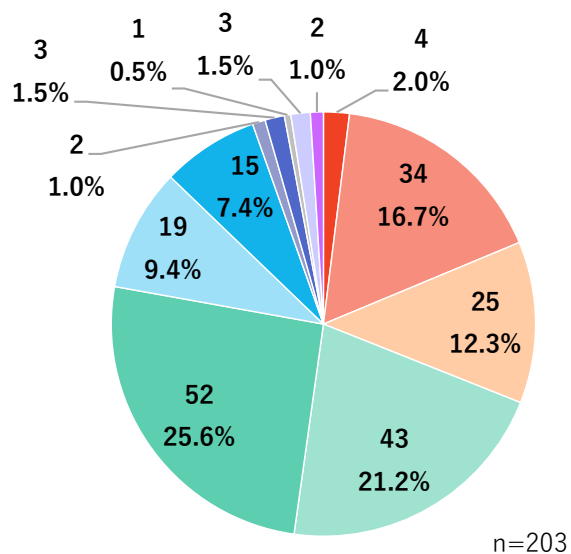
◆性別



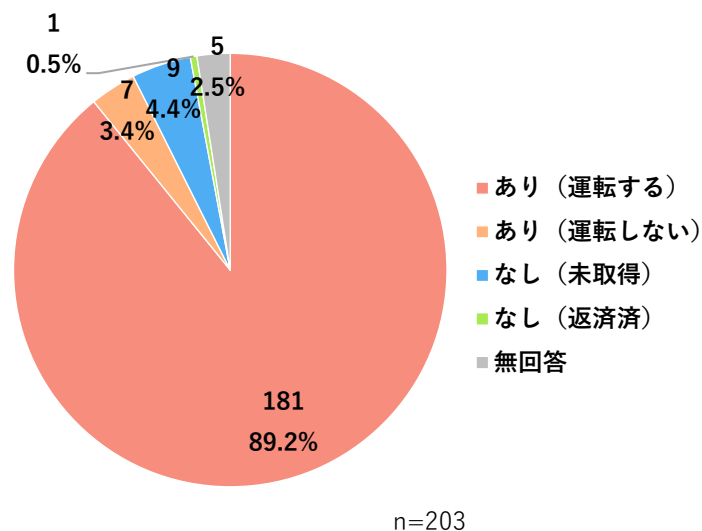
属性（年齢／自動車運転免許の有無）

- 回答者は40代（21.2%）および50代（25.6%）が中心であり、合わせて約半数を占めている。その他の年代では、19～29歳の割合が比較的高く（16.7%）、60代以上は少数である。
- 90%以上の人が自動車運転免許を所持しており、そのほとんどが日常的に運転を行っている

◆年齢



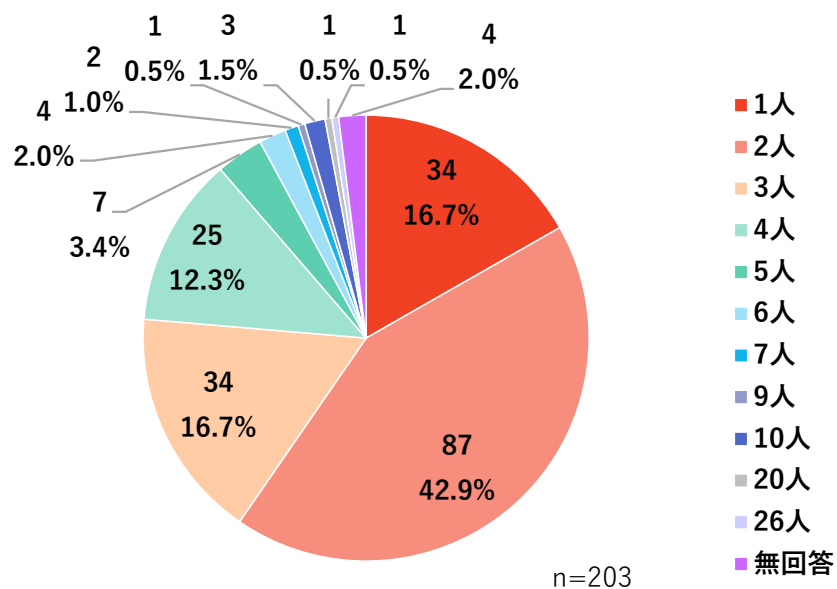
◆自動車運転免許の有無



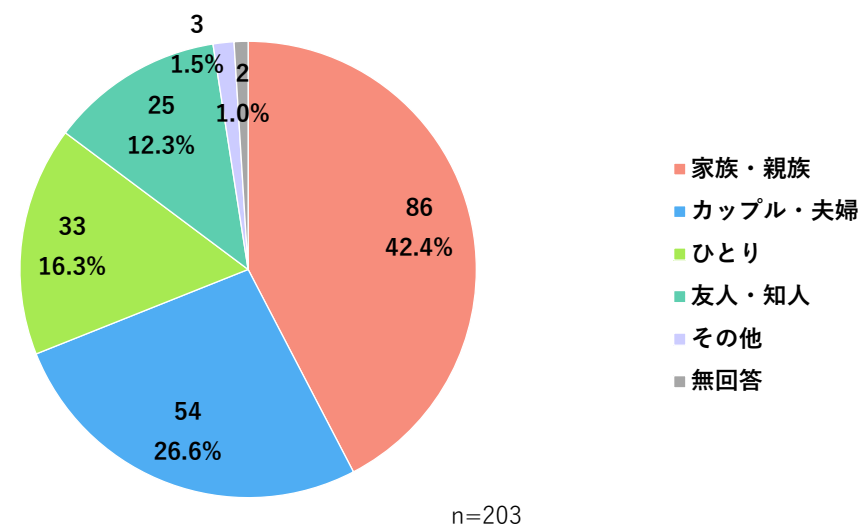
属性（グループの人数／同行者の属性）

- グループの人数は2人が最多（42.9%）であり、次いで、1人および3人（ともに16.7%）である。貸切タクシーの利用が想定される団体客（5人以上）の割合は全体の1割程度である。
- 同行者の属性としては、家族・親族やカップル・夫婦が多い。

◆グループの人数



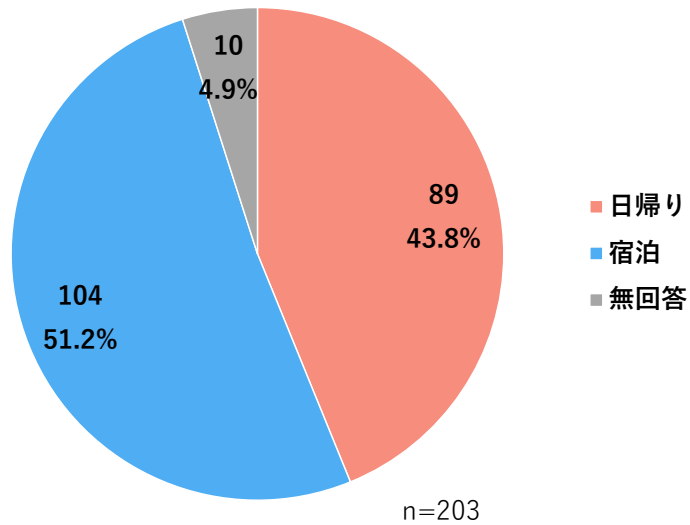
◆同行者の属性



属性（萩市での宿泊の有無／宿泊者の泊数）

- 過半数（51.2%）が萩市内で宿泊をしており、泊数は1泊が73.1%を占めている。

◆萩市での宿泊の有無



◆宿泊者の泊数

